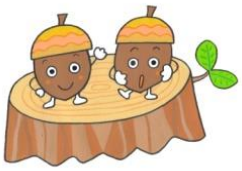


子どもの森づくり通信

発行：NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク

〒146-0082 東京都大田区池上１－３－４　tel:03-5755-3213　fax:03-5755-3081
https://www.kodomono-mori.net　　mailto:info@kodomono-mori.net

ＪＰ子どもの森づくり運動
参加園月例会報
（2022年６月号）

「ＪＰ子どもの森づくり運動」とご縁をもたせていただいた方々に、
活動情報をお送りさせていただいております。ご意見など賜れば幸いです。

＜今月の１枚＞

蒸し暑い梅雨の季節を迎えました。ご体調管理に十分にご留意下さい。
子森通信６月号では、５月に実施された岩手県大槌町での植樹会のレポートをお送りします。
活動は本文でご紹介しましたが、その結果、宮古市、山田町、大槌町と、三陸鉄道に沿って
「東北復興グリーンウェイブ」の子どもの森が生まれました。これからも活動を拡げてまいります。
＊写真は、山田町の子どもの森（カキの森）で育っているどんぐりの木です。

（目次）

１．「東北復興グリーンウェイブ」2022年度植樹会レポート
２．ＪＰ子どもの森づくり運動 2022年度オンライン講座のご案内
３．リレーエッセイ（2022年６月号）

■「ＪＰ子どもの森づくり運動」とは

今、子どもたちは、高度な情報化社会の中でバーチャルな環境に取り囲まれ、本物の自然体験活動から遠ざけられています。しかしながら、子どもたちは、変化に富んだ自然体験活動の中でこそ、五感を通じて豊かな感性や健全な環境意識、そして子ども本来の生きる力を育みます。「ＪＰ子どもの森づくり運動」は、NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク（「子森ネット」）が「日本郵政グループ」との協働体制で、全国の保育園・幼稚園・こども園を拠点に、一貫した森づくり活動を通じて幼児期の子どもたちに自然体験活動と環境学習の場を提供しようという全国運動です。

■「ＪＰ子どもの森づくり運動」運営体制

・運　　営　：NPO法人 子どもの森づくり推進ネットワーク（「子森ネット」）
・特別協賛　：日本郵政グループ
・主な後援/協力/連携団体

（公社)全国私立保育連盟　　NPO法人 富良野自然塾
（公社）大谷保育協会　　（公社）こども環境学会
保育環境研究所ギビングツリー　　国際校庭園庭連合日本支部
（公社）国土緑化推進機構　　（一社）日本森林インストラクター協会

１．「東北復興グリーンウェイブ」2022年度植樹会レポート

2022年5月23日(月)に、岩手県大槌町で、東北の緑の復興を目指す**ＪＰ子どもの森づくり運動「東北復興グリーンウェイブ」**の植樹フィールドが、宮古市、山田町、大槌町と、「東日本大震災」復興の象徴である三陸鉄道の沿線に沿って拡がり、今年度の活動は、その三つの市町の保育園・こども園の子どもたちが参加して行なわれました。宮古市、山田町の子どもたちは、三陸鉄道の特別臨時列車「どんぐり列車」に乗って大槌町に集まりました。活動の詳細は、ホームページや「子森チャンネル」をご覧下さい。

１）活動概要

１．日　　時：2022年5月23日(月)10:30～11:30
２．会　　場：岩手県大槌町「吉里吉里苗畑」
３．主　　催：社会福祉法人堤福祉会「つつみこども園」
４．共　　催：NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク
５．特別協賛：日本郵政グループ
６．協　　力
岩手県大槌町　三陸鉄道　「あかまえこども園」「山田町第一保育所」「とよまねこども園」「織笠保育園」
７．参加者（数）
宮古市、山田町、大槌町の保育園・こども園園児（約90名）、及び保護者、職員、関係者

子どもたちは、三陸鉄道のどんぐり列車で大槌町に集まりました。

「つつみこども園」芳賀園長先生の司会で開会式です。
多くのご来賓からごあいさついただきました。

植樹活動が始まりました。大槌町の平野町長さんや
三陸鉄道の石川社長さんにもお手伝いいただきました。

みんな一生懸命、どんぐりの苗木を植えました。

植えた後に、大きくなってねと願いを込めて水やりをしました。

みんなで記念写真を撮って、解散となりました。

２．ＪＰ子どもの森づくり運動 2022年度オンライン講座のご案内

ＪＰ子どもの森づくり運動では、今年度も、長引く感染症対応による厳しい保育活動の現場で頑張っておられる保育者の方々に向けて、保育・幼児教育に役立つオンライン講座をお送りします。今年度は、毎年恒例の、**保育のそもそもを学ぶ「夏期オンライン講座」**と、**多様な園庭づくりを学ぶ「園庭緑化運動オンライン講座」**の２講座です。**すべての講座共通で、受講費は無料です。**受講者数が制限されていますので、受講ご希望の方は早めのお申し込みをおすすめします。**（先着30名）**皆様の積極的なご参加をお待ち申し上げます。**受講申し込みは、別紙チラシをご参照下さい。ホームページからもお申込みいただけます。**

１）夏期オンライン講座

【7月講座（幼児(少)期の環境教育）】自然の直接体験で得られるもの～最新の研究から～

＊日 時：2022年７月26日(火) 14:00～15:30 ＊申し込み締切り：2022年７月20日(水)

＊講 師：北海道教育大学 教育学部岩見沢校 アウトドア・ライフコース
教授 能條 歩（のうじょう あゆむ） 先生

【8月講座（子どもの環境）】

＊日 時：2022年8月20日(土) 14:00～15:30 ＊申し込み締切り：2022年８月12日(金)

＊講 師：こども環境学会 代表理事 株式会社環境デザイン研究所 会長
東京工業大学名誉教授 仙田 満（せんだ みつる）先生

【9月講座（保育の現場から）】見守る保育

＊日 時：2022年9月27日(火)14：00～15：30 ＊申し込み締切り：2022年９月20日(火)

＊講 師：保育環境研究所ギビングツリー 代表
新宿せいが子ども園 園長 藤森 平司（ふじもり へいじ） 先生

２）「園庭緑化運動」オンライン講座

＊6月講座は終了しました。

＊全講座コーディネーター：田園調布学園大学大学院 人間学研究科 子ども人間学専攻 准教授
国際校庭園庭連合日本支部 代表 仙田 考（せんだ こう） 先生

＊全講座、定員間近です。ご希望の方は早めにお申し込み下さい。

【8月講座】乳幼児期における自然・植物環境の重要性～園庭植栽のあり方について～

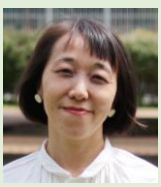
＊日 時：2022年8月25日(木)14：00～15：30

＊講 師：むぎの穂保育園 園長 出原 大（いずはら だい）先生

【10月講座】まちを愛でてまちを楽しむ～まち保育のススメ～

＊日 時：2022年10月25日(火)14:00～15:30

＊講 師：横浜市立大学大学院 都市社会文化研究科
都市社会文化専攻 教授 三輪 律江（みわ のりえ） 先生



【12月講座】園児と自然の生きものが出会う空間の作り方・使い方

＊日 時：2022年12月20日(火)14：00～15：30

＊講 師：（公財）日本生態系協会 教育研究センター センター長 田邊 龍太（たなべ りょうた） 氏

３．リレーエッセイ（2022年６月号）

幼児(少)期の環境教育をテーマに、北海道教育大学 教育学部岩見沢校　アウトドア・ライフコース　教授　能條　歩（あゆむ）先生によるリレーエッセイ３回目の連載です。今月号は、環境教育の基盤である「多様性」についてのお話しです。

自然体験への期待～多様性の実感～

北海道教育大学 教育学部岩見沢校　アウトドア・ライフコース　教授　能條　歩

差別や偏見をなくしてみんなが生きやすい世界にしよう、という文脈で「多様性を重視する」ということばがあちこちで聞かれるようになりましたが、環境教育の分野にはこれとは別に1980年代後半から重要視されるようになった「生物多様性」という概念があります。これは、「さまざまな生き物がいる自然を守ることが大切だ」ということにつながる考え方で、持続可能な社会づくりにとっても大変重要なこととされています。

一方、こどもの発達においては、これとはまた別の「多様性への気づき」を得ることも大切です。「多様性への気づき」とは、「いろいろな種類のモノがある」ということだけではない、「一つのモノだけみても自然は多様である」ということへの気づきです。たとえば、私たちの周りにはたくさんの「丸いモノ」がありますが、室内を見渡して目に入るのはコンパスで書いたような真円がほとんどです。一方、自然の中には真円だけではなく、楕円もあればいびつで多角形に近い丸もあり、一口に丸といっても実にさまざまです。このような「真円だけが丸ではない」という多様性に気づくことは、柔軟な思考を持つことや受容性が身に付くことにもつながります。そして、やがては同じ形であっても色・音・匂い・触感・温感が違う多くのモノがあることにも気づくようになり、それらを人につたえようとする時にこどもたちは「丸とは何か」という学びを深めます。

後年になってこどもたちが理科の授業で花に関する共通性を学ぶ際、もし花を見たことがなければ、具体例を思いつくことができず深い理解には至らないでしょう。自然の仕組みや理論を理解するためにも実感は重要です。実感の伴わない理論は覚えたとしてもすぐに忘れてしまいます。理論を学ぶ前の幼児期のうちに、自然の直接体験によって多様性への気づき（実感）を得ておくことは、単に「自然は多様だ」ということを知ること以上に大切な意味があるといえるでしょう。

【筆者近況】

ようやく北海道でも暖かい日が（ときおり）訪れるようになりました。私の住んでいる夕張市ではメロンの出荷がはじまりました。この時期の季節の便りですね。そういえば、北海道ではこの時期になるとあちこちで「熊出没注意」という看板が出るのですが、私の自宅の１～２km圏内にも２箇所ほど新しい看板が立ちました。メロンと違って特にニュースにはなりませんが、これもある意味季節の便りです。（＊本文含む写真は筆者提供）

【事務局からのご案内】能條先生によるオンライン講座、受講者募集中！

別ページでの案内のとおり、7月26日(火)に、能條先生による自然体験の効用をテーマとするオンライン講座が開催されます。

「癒し、親和的態度、畏敬の念、自然との一体感、などが得られるというのは本当か、最新の研究による検証結果の紹介」

という興味深い内容です。同封の申し込み用紙にてお申込み下さい。ホームページからもお申し込みいただけます。

受講者数が限定されています。早めの応募をおすすめします。